

変革の現場

小林電子工業の中計づくり

小林電子工業 経営コンサルタントに
（本社）埼玉県 新座市）は、1 970年の設立
以来、産業用機 器向けのプリン ト配線板製造を
主に、基板の設 計から部品の実 装までを手掛け
ている。コンサ ルティンクを機 に、経営理念や
経営ビジョンを 策定を通じて後継者の 育成を図っている。今
年4月からは完全週休 3日制を導入した。



製造工程は、従業員の高まりが、高利益率を維持し、今後の成長と発展につながる。客開拓、営業担当者の間接業務削減などに取組むことを記した。

第三者の目線で経営診断

重要経営課題で 営ビジョンを定め、5 あり、三つの課 年目の数値目標を明示 題を解決すれ した。

製造工程は、従業員の高まりが、高利益率を維持し、今後の成長と発展につながる。客開拓、営業担当者の間接業務削減などに取組むことを記した。これらの中計は、中期経営計 組織マネジメントで は、人材育成や採用の 強化、管理会計制度の 導入などに触れた。 経営理念（全ての関 係者との共存共栄を 目指す）と経営ビジョ ン（安定した収益を 上げ、具体的な内容 を検 討される会社にする。 仕 事）に合わせたので、週 の労働時間は変わら ず、給料も変わらな ない。

社員のベクトルを同じ方向に

小林浩・小林電子工業代表取締役 小 高村浩・小林電子工業代表取締役 高村浩・小林電子工業代表取締役

小林浩・小林電子工業代表取締役 小 高村浩・小林電子工業代表取締役 高村浩・小林電子工業代表取締役

小林浩・小林電子工業代表取締役 小 高村浩・小林電子工業代表取締役 高村浩・小林電子工業代表取締役

自社の当たり前前に向き合う

高村航・日本生産性本部主任経営コンサルタントの 話

高村航・日本生産性本部主任経営コンサルタントの 話

高村航・日本生産性本部主任経営コンサルタントの 話

え、先送りにせず今から手を打ち、経営 改革を行った。「困らない経営」「持続 可能な経営」を掲げ、従業員の生活を守ら いう意識が非常に強い社長が、提言をし かり受け止め、謙虚に著実に施策を 実行さ れていることに敬意を表したい。

小林電子工業は売上高約3億円、従業員は 22人（パート含む）の中小企業だが、日々自 分たちの行っている仕事の成果を信じ、取引 先にしつかり説明をして値上げを了承しても

らったことで、同社の損益分岐点は大きく改 善され、付加価値率も高まった。

「VRIIO分析」（経済的な価値、希少性、 模倣困難性、組織の四つにおいて、自社の経 営資源が他社に比べてどのくらい競争優位が あるかを分析するフレームワーク）に「独自の 歴史的条件」（組織の歴史が競争優位性の 形成に影響を与える）という概念があるが、 長い時間をかけてその企業が獲得したものは 他社がまねできず模倣困難性が高い。自社の 当たり前だと思っているものをも一度見直 してほしい。



果が出た背景には、小林 社長の長期的な視点と謙 虚な姿勢、値上げの断行 があると思っっている。

果が出た背景には、小林 社長の長期的な視点と謙 虚な姿勢、値上げの断行 があると思っっている。

果が出た背景には、小林 社長の長期的な視点と謙 虚な姿勢、値上げの断行 があると思っっている。

果が出た背景には、小林 社長の長期的な視点と謙 虚な姿勢、値上げの断行 があると思っっている。